

ユニオンファンド 月次レポート

第 187 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2024年6月6日作成

MONTHLY TOPIC

バブル——その功罪と事前の心構え、そして活用術

最近の株価上昇ピッチの速さ見て、バブルではないかと心配する声が聞こえるようになりましたが、株価が上がり続けて高値を更新するだけでは、必ずしもバブルとは言えません。問題は、株価が経済や企業の実体から上に乖離し過ぎている場合です。ハイテク企業が多くが採用されていることで知られる米国の NASDAQ 総合指数は、2000 年春の高値 5048.62 から 2002 年の底値 1114.11 まで大幅に下落しました。IT バブルの崩壊です。大損した投資家は多く、悪影響は実体経済にも及びました。

IT バブルの良かった面（今だから言えることです）

IT バブルが人々を熱狂させたのは、明るい未来への高揚感でした。IT（情報技術）の発達により在庫変動が解消され、経済はより安定した成長を実現できるようになる、ということもよく言われました。実現しなかった部分もありますが、IT の発達によって人々が入手できる情報量は飛躍的に増え、選択の幅が広がりました。生活は確かに便利になり、良くなった点はたくさんあると思います。

もちろん、IT そのものと株式市場の IT バブルは別物です。ただ、バブルのような熱狂の時には、膨大な資金がその産業や企業に集まり、その資金は新しい技術の開発やモノの調達・販売の革新など意味のあることに振り向けられます。様々な分野への大規模な投資がその後の成長に道筋をつけてくれた、という面もおそらくあるでしょう。バブルに負の側面が多いのは確かですが、長い目で見れば社会の発展に貢献した部分もあるように思います。今日の世界的な大手 IT 企業には、IT バブルの時代に生まれ、生き残り、成長を続けたところが少なくありません。狂ったようなバブル相場が無かったら、これほど早くは発展しなかったかもしれないとさえ思います。

バブルは一時、成長は長期

とはいえバブル崩壊で損するのは誰だって嫌です。ただ、バブルが発生してその後破裂するのではないかとヒヤヒヤし、早手回しに株式を売ってしまうことは、バブルに踊らされて高値を買い上がってしまうことと、実は似ている点があります。それは、どちらもバブルという株価変動に心と行動が振り回されているということです。株価は所詮どこかで大きく崩れることもあると、予め心に刻んでおくことが大切でしょう。

高いところで買って大損するのは是非避けたいですが、最もいけないのは底値で売ってしまうことです。株価は長期的に上がるものだと思っている投資家なら、バブルの崩壊には安くたくさん買えるというありがたい面もあります。バブルの気配が漂う時であっても、相場にのめり込み過ぎず、かといって値下がり恐れ過ぎもせず、先を見据えて投資を続けていただければと願っているところです。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2024年5月末現在)

基準価額

38,631円

純資産総額

138億27百万円

期間別騰落率(%)

1ヶ月	1.92%
1年	17.85%
3年	25.71%
5年	72.44%
10年	101.35%
設定来	286.31%

複利年率(%)

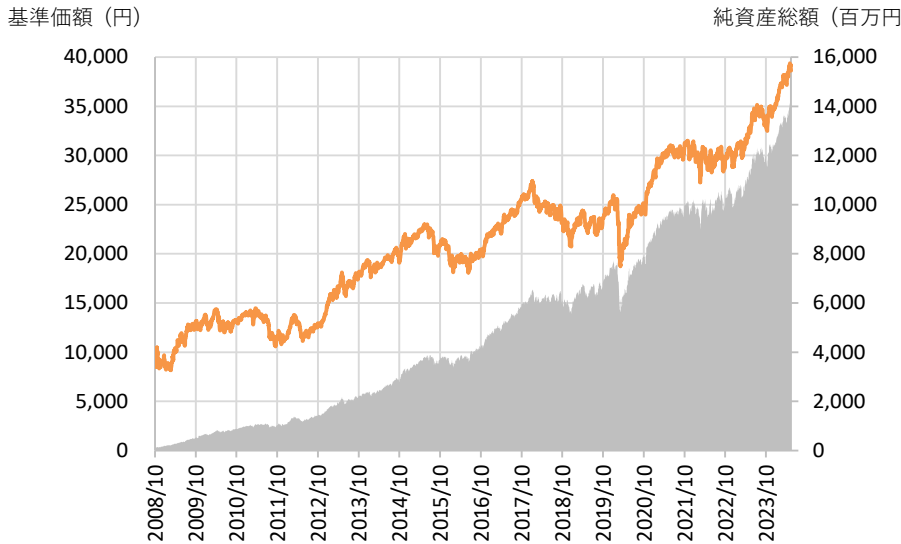
9.04%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

* 設定来、分配の実績はありません。

基準価額と純資産総額の推移（設定来、分配の実績はありません。）

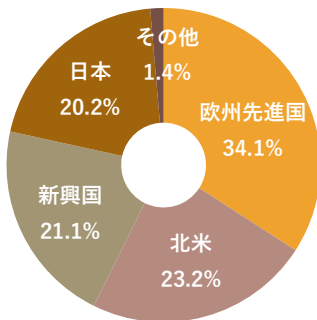


組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみF	日本	4.9%	1.7%
スパークスF	日本	11.5%	-1.9%
キャピタルF	欧米	19.8%	1.9%
ハリスF	欧米	19.5%	1.7%
コムジェスト・ヨーロッパF	欧州	13.2%	2.8%
コムジェスト・エマージングF	新興国	18.3%	6.0%
現金等	-	12.8%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2024年4月末現在)

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2024年5月の市場動向と運用状況

投資環境

5月の世界の株式市場は全般に上昇しました。米国では、月初にパウエル議長が利上げの可能性に否定的な発言をしたことが好感されたほか、インフレ圧力として懸念されていた雇用の逼迫感がやや薄れ、さらには消費者物価指数の上昇率が若干低下したことなどから、特に前半、株価は好調に上昇しました。IT関連企業の一部が良好な先行き見通しを示すなど、企業業績が全体として明るさが増したこともプラスとなり、主要株価指標は高値を更新しました。

欧州や新興国でも、インフレ鈍化を受けて利下げ期待が広がったことや、景気が昨年後半からの悪化局面を脱してきたことが好感され、株価は総じて好調に推移しました。新興国株は、現地通貨ベースで米国に並ぶ値上がりとなり、通貨も堅調だったことから、円換算で見た上昇率は欧米を上回りました。一方、日本株は利益確定売りや金利上昇懸念などからやや出遅れ、このところ軟調な小型株は若干の下落に終わりました。

為替市場では、月初の急激なドル高円安を受けて日銀が円買い介入を実施したと見られています。これにより円は一旦急反発しましたが、金利差の大きさから円は軟調な推移に戻り、前月末対比で若干の円安で終わりました。

運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は上昇しましたが、組入ファンドの値上がりが全体に鈍かったことや、多めに組み入れている日本株、欧州株がやや出遅れたことなどにより、市場全体の上昇に追従できませんでした。売買は見送りました。月末の組入比率は87.2%と、ほぼ前月並みでした。

今後の見通し

米国株価は堅調ではありましたが、必ずしも先行きがはっきりしているわけでもありません。「景気軟調、インフレ低下、FF金利引き下げ」という予想が強まったかと思えば、すぐに「景気良好、インフレ低下せず、FF金利の年内引き下げは無い」との予想に変わるなど、市場参加者の見方は何度も揺れました。景気もインフレも金利も方向感が定まっておらず、株価も上下に振れるわかりにくい状況が続くのではないかと見ています。

ほぼ毎回のようには書いていますが、米国株ではPERなどバリュエーション指標が割高なままです。一方、欧州ではドイツ経済が立ち直ってきたこと、ECB（欧州中央銀行）による利下げの可能性が高まっていることなど、やや追い風が強まりそうだと見ています。また、新興国では、利上げの回数が減っている点はやや気になりますが、米国金利の上昇による通貨下落リスクは低下してきたと思われます。景気も全体的に強含んでおり、もたつき感のある企業業績に勢いが戻るかどうかに注目しています。中国については、不動産市況の悪化が景気の足を大きく引っ張っていますが、政府の対策が今後ある程度効果を発揮する可能性もありそうです。

経済成長率や業績の伸び率は、今年の後半になると米国をそれ以外の地域が上回ってくるとの予想も出てきました。米国株の相対的な優位が低下していくことも考えられます。下落場面を中心に、特に米国以外で買い増しの機会を探っていく考えです。

運用責任者 久保田徹郎

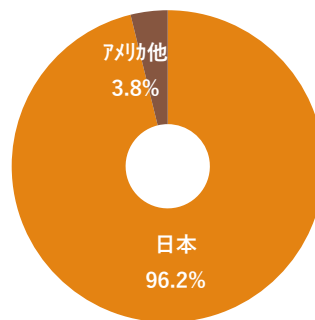
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



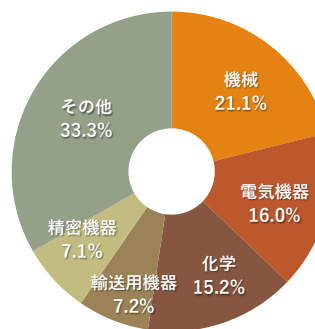
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ディスコ	5.5%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
2 信越化学工業	4.3%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
3 ダイキン工業	3.3%	日本	機械	エアコン世界大手
4 プリチストン	3.2%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
5 トヨタ自動車	3.1%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
6 テルモ	3.1%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
7 INPEX	2.7%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
8 ニデック	2.4%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
9 花王	2.3%	日本	化学	トイレットペーパー首位
10 日立製作所	2.2%	日本	電気機器	総合電機世界大手
上位10銘柄	31.9%		現金等	11.8%

業種別構成比



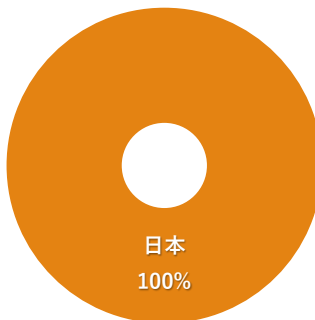
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年5月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



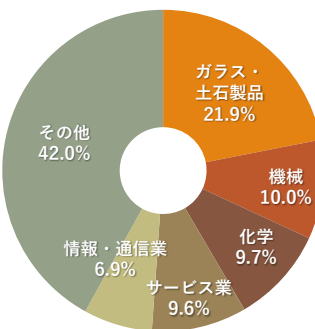
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
メック		日本	化学	電子基板用薬品
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スーター
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
現金等			現金等	6.1%

業種別構成比(マザーファンド)

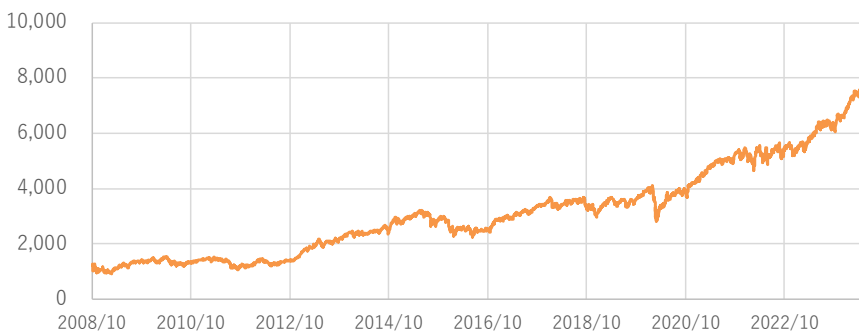


※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年4月末現在 >

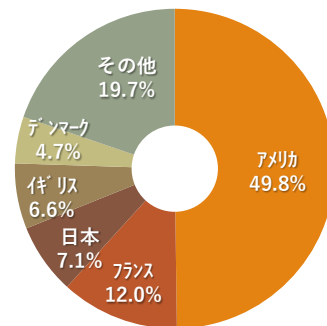
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



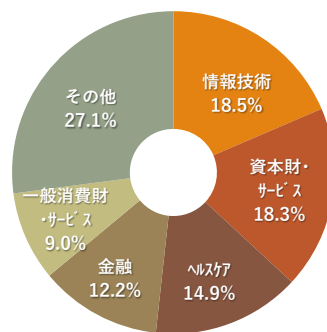
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Novo Nordisk	3.2%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 Broadcom	2.8%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3 Alphabet	2.3%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
4 Microsoft	2.3%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
5 Safran	2.1%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
6 AstraZeneca	2.0%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
7 ASML	2.0%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
8 TotalEnergies	1.8%	フランス	エネルギー	国際巨大石油資本の一角
9 Apple	1.5%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
10 SAP	1.3%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
上位10銘柄	21.3%	現金等	5.1%	

業種別構成比



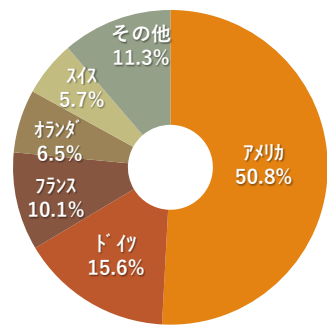
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年4月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



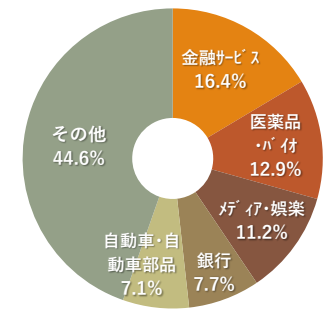
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	4.0%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 BNP PARIBAS	3.9%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 MERCEDES-BENZ	3.8%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
4 IQVIA	3.8%	アメリカ	医薬品・バイ	薬品会社向け臨床研究・試験等
5 FISERV	3.8%	アメリカ	金融サービス	金融機関向け情報処理サービス
6 CNH INDUSTRIAL	3.7%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
7 BAYER	3.6%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
8 BANK OF AMERICA	3.5%	アメリカ	銀行	米国大手銀行
9 CAPITAL ONE	3.2%	アメリカ	金融サービス	銀行、クレジットカード事業等
10 INTERCONTINENTAL EXCHANGE	2.8%	アメリカ	金融サービス	金融取引所の大手運営会社
上位10銘柄	36.0%	現金等	3.8%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年4月末現在>

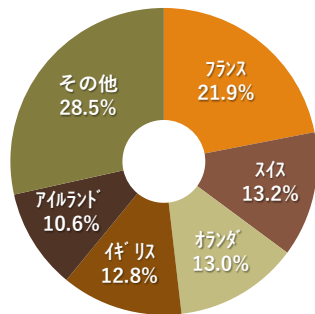
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



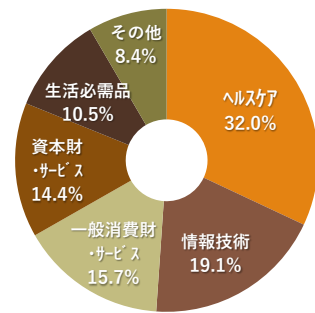
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 NOVO NORDISK	8.5%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 ASML	8.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 ESSILORLUXOTTICA	4.9%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 EXPERIAN	4.5%	イギリス	資本財・サービス	データ・分析ツールの提供
5 LINDE	4.1%	イギリス	素材	産業ガス世界大手
6 LVMH	4.0%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
7 ALCON	3.9%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
8 ACCENTURE	3.6%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
9 STRAUMANN HD	3.2%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
10 DASSAULT SYSTEMES	3.1%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフトウェア会社
上位10銘柄	48.2%	現金等	2.3%	

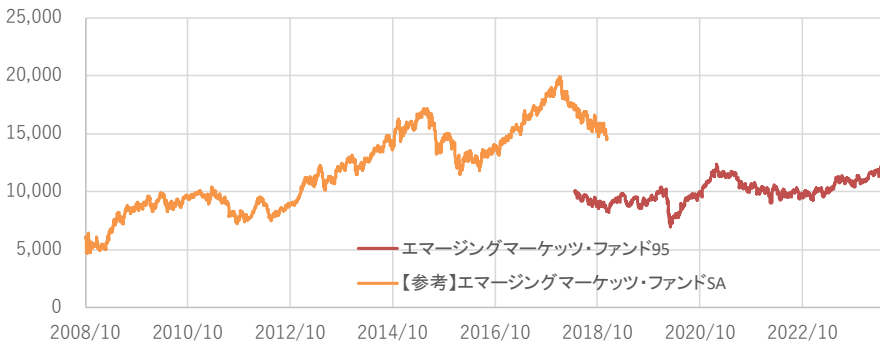
業種別構成比(マザーファンド)



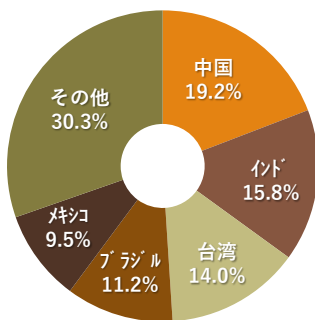
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年5月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



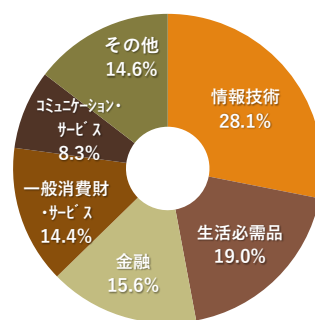
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	9.7%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 TENCENT	5.6%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
3 MERCADOLIBRE	4.7%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
4 SAMSUNG ELECTRONICS	4.7%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
5 FOMENTO ECONOMICO	4.3%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
6 DELTA ELECTRONICS	4.1%	台湾	情報技術	電源、変圧器
7 MARUTI SUZUKI	4.1%	インド	一般消費財・サービス	SUVの子会社
8 Wal Mart de Mexico	4.0%	メキシコ	生活必需品	ウォルマートのメキシコ・中米部門
9 POWER GRID OF INDIA	3.8%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
10 ASML	3.2%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
上位10銘柄	48.2%	現金等	1.2%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年5月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

ご登録情報・ご契約内容の変更手続きについて

弊社へご登録いただいているご住所、お名前等の登録情報、毎月積み立て「定期定額購入サービス」の購入金額や引落金融機関口座等の契約内容の変更につきましては、書面によりお届けいただいております。

各届出用紙につきましては、**弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話** または **弊社ホームページの「お取引について」** よりご請求ください。

≪弊社ホームページからの変更用紙請求手順≫

「お取引について」>「登録情報変更用紙請求」ページ
https://www.unionam.co.jp/account/regipii_input/

- ① [入力フォーム]お客様情報 をご入力
- ② [入力フォーム]手続きされる項目の必要書類に部数、用紙送付先情報 をご入力
- ③ 「入力内容の確認画面へ」> 内容ご確認の上「送信」ボタン

※ 定期定額購入サービスは購入スケジュールに沿って手続きが行われますので、お申込みの時期によってはご契約内容が反映されるまでにお時間がかかる場合がございます。何卒ご了承ください。

※ 上記以外の登録情報などに関すること（特定口座、NISA 口座、マイナンバー、お届け印など）でお困りのことがございましたら、お電話または弊社HPより弊社業務管理部までお問い合わせください。

目論見書の改訂について

2024年6月28日にユニオンファンドの目論見書を改訂いたします。

- ◎ 同日以降、新たな交付目論見書、請求目論見書を弊社ホームページへ掲載いたします。
- ◎ 今回の目論見書改訂において重要な事項に変更はありません。
- ◎ 2024年11月5日から東京証券取引所の取引時間延伸が予定されており、これに合わせて、ユニオンファンドの売買申込締切時間についても、同日以降、原則毎営業日午後3時30分まで*となる予定です。
※この時間までに事務手続きが完了したものが当日の取扱い（申込受付分）となります。
- ◎ 「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までお申し出ください。）。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。

[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]

*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。

※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。